



広報あさぬ

第411号

住民基本台帳人口と世帯数
(4月1日 現在)

人口	30,125 (-239)
男	14,075 (-123)
女	16,050 (-116)
世帯数	9,512 (-24)
() 内は前月比	

昭和43年9月20日 第3種郵便物認可・毎月1回10日発行
昭和56年4月10日 鹿児島県阿久根市役所編集発行 1部10円



大林・多田地区に水道施設完成

「こいで安心 うんまか水じゃ！」

4

月号

積極的予算で市政に活力を

川畑市長施政方針を発表



施政方針を発表する川畑市長

調和のとれた魅力あるまちに

産業基盤を主に市政を推進

川畑市長は、三月十日から開かれた昭和五十六年第一回定例市議会のなかで施政方針演説を行ない、過去二年間の実績をふまえ、市民の生活安定と福祉の向上を願ひ、限られた財源を充分に活用し、最大の効果をあげるため、産業基盤の整備を第一に、教育施設の充実など魅力あるまちづくりをめざし市政を推進していくことを明らかにしました。

昭和五十六年第一回定例市議会の開会にあたりまして市政に対する所信を申しのべ、市民の皆さまのご理解をいただきご協力をたま

わりたいと存じます。私は、昭和五十四年一月市長に就任いたしましたから二年を経過しましたが、この間、市民の生活

安定と福祉の向上をねがい、「明るく、清新な活力ある阿久根をつくる」という私の基本的目標に従って努力を重ねてまいりました。さいわいに市民の皆さまのご理解とご協力によりまして、市政は順調に進んでいるものと考え、深く感謝申しあげているところでございます。

産業・福祉・教育を重点に予算を配分

しかしながら、国の内外における経済その他の情勢は非常に厳しいものがあります。昭和五十六年度における国および各地方公共団体の財政運営につきましてはなほだ困難な状況にあるものと思われま

す。政府におきましては、昭和五十六年度の予算編成にあたり、多額の財源不足に苦慮し、予算規模は対前年度比九・九％と一けた台の伸びに止っております。

一方地方財政計画の策定におきましても一層厳しいものがあり、その財源不足額は前年より若干減

私は、過去二年間の実績を踏まえ、初心を忘れることなく、阿久根市の発展と市民の福祉増進のために、あらゆる施策を計画的にしかも積極的に推進して参らなければならぬと考えております。そのために、過疎地域振興計画、さらに川北薩、串木野モデル定住圏の指定に基づいて策定された基本計画等の長期計画により、調和のとれた活力のある定住社会、過疎からの脱却と若年層の定住し得る魅力ある社会の形成をめざして一歩一歩ねばり強く前進を続けて参る所存であります。

少ししたとはいえ、なお一兆三百億円が不足することになり、地方交付税の増加と財源対策債の発行によって収支が保たれることになっております。

このような厳しい情勢のなかで昭和五十六年度阿久根市の予算を編成するにあたりましては、自主財源の乏しい財政事情を考慮して収支の均衡を旨とし、まず第一に産業基盤の整備と住民福祉の向上ならびに教育施設の整備に重点的な予算の配分をし、さらに限られた財源のなかで常に最少の経費で最大の効果をあげるよう配慮いた

しました。

昭和五十五年度予算は、当初一般会計五十九億五千万円、特別会計二十五億一千万円、計八十四億六千万円で発足し、今向までの補正を加えて合計九十二億四千万円となりますが、事業費予算ににつきましては、一部の繰越事業を除いてはほぼ順調に消化できるものと考えております。

このなかで特に水道事業につきましては、上水道事業の第四次拡張計画の実施により、新しい水源の開発と配水池などの各施設を整備してまいりましたが、本年はその二年目にあたり、さらに老朽施設

設の改善を計画いたしております。

また、長年水不足のため住民から要望の絶えなかった多田・大林・単人・大洲川・深田の各地区に對しても簡易水道または農業構造改善事業の導入によりまして、給水施設を設置することになりました。

私は、人間の生活の根源はまず水であるとの基本的考え方に立ちまして、水不足の解消に努めて参りましたが、今回の一連の事業によりほぼその目的は果たされたものと考え、残されたごく一部の地域につきましても、さらに解決のため努力を続けてまいります。

農林水産業を近代化

「肉用牛導入基金」で高齢者等の福祉向上を

本市産業の根幹である農業につきましては、従来に引続き農業構

造改善事業を施行し、さらに本年を初年度とする農村移住整備事業



とる漁業からつくる漁業を推進

林業の振興につきましては、造林および保育事業を重点に森林資源の造成に努めてまいりましたが、本年は新しく林業構造改善事業の導入により林業生産基盤整備ならびに生活環境施設の整備を図ることとし、高松川防災ダム周辺に所在する市民いこいの森を森林レクリエーション施設として大巾に整備充実し、完成いたしますと観光の面からも大きな役割を果すことになると思われます。

また、本市特用林産物の振興のため、竹林改良事業によりたけのこ

にもとづくモデル事業などにより農道、農地の基盤整備をはじめとして運動広場、公園などの環境施設の整備につとめ、農業従事者および後継者の育成に配慮してまいります。

また、最近の農家経営の状況にかんがみ、畜産振興の一環として「高齢者等肉用牛導入基金」を設置することとし、高齢者の生きがい対策として肉用牛の飼育促進に努めることにいたしました。さらに肥育センターの建設も計画を

林業構造改善事業 で市民いこいの森 を整備

すすめてまいります。

出水市を起点として本市にいたる広域農道の建設については、早期完成に鋭意努力を続けておりますが、これが完成すれば、国道三号のバイパスとして、また市内の重要産業道としてはかりしない効果がもたらされるものと考えます。

主要農道の整備につきましては昨年引続き砂利撒布、グレーダ利用の整備事業を実施、農作業環境の整備をすることにしております。

生産の拡大を図り、農家所得の向上につとめてまいります。



整備される

市民いこいの森

大型人工礁や稚ウニの放流で “とる漁業から つくる漁業へ”

水産業では、昨年度水産課を設置し、指導体制を整え水産業の振興につとめてまいりましたが、基本的には港の整備が重要であり、今後は、まず阿久根漁港の第七次整備計画へ向けて努力するほか、漁港、港湾の整備をすすめてまいります。

さらに、本年度から国の事業による大型人工礁建設が事業実施の運びとなり、また外海域放流パイロット事業としてウニの増殖事業を実施することになり、とる漁業からつくる漁業への転換が大きく前進するものと思えます。

商工および観光の事業につきましては、昨年の商工観光課設置によりまして、一本化した商工観光事業の振興、促進につとめているところであり、昨年実施して好評を得た鹿児島市での物産展を本年も実施することにし、東京その他大都市での物産展に積極的に参加して、市内商工業発展のため努力を続けてまいります。

企業誘致にも積極的に努力

保健センター・働く婦人の家を建設

企業誘致の問題は、現今の経済情勢におきましては、はなはだ困難な事情にあると考えられますが、今後も引き続き努力を続けてまいらなければならぬ重要な問題であると考へます。

土木関係につきましては、市民の生活ならびに交通の環境整備を促進するため、五十五年度に引き続き重点施策の一つとしてとりあげ、大巾な予算配分を行なっております。



働く婦人の健康づくりも推進

市道の整備につきましては、総延長三十万三千八百十メートルの路線を整備四カ年計画に基づき事業をすすめてまいりましたが、五十六年度は改良五千三百二二メートル、舗装九千八百五十一メートルを計画しておりますが、その実施によって改良率三二・七％、舗装率八二・五％となる見込みであります。

また五十五年度から里道整備事業としての新しい制度を設けましたが、今後も引き続き実施して地域住民の生活環境整備を図る所存でございます。

都市計画事業では、鶴見地区土地区画整理事業を引続き実施するほか、新たに湖地区の事業実施のための予備調査に入り、また市街地の秩序ある整備を図るため、用途地域指定準備とあわせて都市整備基本調査をすすめることにいたしております。

上野都下水路事業は、いよいよ二年目に入るわけですが、五十六年度は排水路の設置にとり組み地域住民を大雨災害から守ることにいたしております。

また、新たに市営住宅十四戸を建設して市民の住宅需要緩和を図

ります。

次に市民の健康を守る立場から健康相談、健康診査等の徹底を図るため、保健センターを建設することとし、同時に働く婦人の研修の場とし教養を高め、婦人の地位向上を図るため、働く婦人の家を建設することにいたしました。

「国際障害者年」記念事業を実施

福祉につきましては、高齢化社会への移行の状況の中で、老人、

教育施設をさらに充実

山下小学校にプール・臨本地区に公民館

次に教育関係につきましては、次代を担う青少年のすこやかな成長を願ひ、教育効果の向上を図るため学校の施設整備の充実をすることとし、西目小学校、田代小学校、大川中学校の危険校舎改築、山下小学校のプール建設、鶴川内



健全な青少年を育成

母子、障害者等に対する深い配慮が大切なことだと考えておりますが、特に老人福祉については、クラブや団体の育成をはじめ、「老人健康教育事業」等をすすめて、生きがい対策に努めることにいたします。

また、本年は「国際障害者年」にあたり、本市におきましても障害者に対する福祉施策を特に充実することとし、福祉大会やスポーツ大会なども実施するように計画しております。

中学校、三笠中学校の校庭整備、臨本小学校の給食室改築など教育環境の整備につとめ、また臨本地区公民館の建設によりまして社会教育の場として活用し、地域住民のコミュニケーション施設としての役割をはたすようにつとめてま

います。

私は、市勢発展のための施策は冒頭で申しあげましたとおり、長期展望に基づいて計画的に行われなくてはならないと思ひます。その意味で現在の阿久根市総合開発計画は、昭和五十一年に策定されたものでありますが、社会経済の情勢の変化によりまして見直しをする必要に迫られてきました。

今回、昭和五十五年度を基準年度として、昭和五十六年度からおおむね十年間を目標に基本構想ならびに前期五カ年間の基本計画を策定する準備をすすめております。これを大きな柱として阿久根市の飛躍的發展に努めてまいりたいと存じます。

市長、職員一致協力し市民奉仕に尽くす

以上、施政の方針と昭和五十六年度予算の概要をご説明申しあげましたが、提案いたしました諸施策の実現につきましては、市長、職員一体となって住民の福祉を最優先とし、真に市民に奉仕するという心構えをもって対処することが大切なことと思ひます。

何とぞ、市民の皆さま方におかれましてもご理解のうえご協力くださいますようお願い申しあげまして施政の方針といたします。

新しい事業で豊かなまちづくりを

産業の振興、道路の整備、教育施設の充実および福祉の向上を基本目標とした昭和五十六年度市政は、水道事業や都市計画事業などすすめ新しいまちづくりとして飛躍をつづける一方、農・林・漁業構造改善事業を取り入れた各種事業を積極的にすすめて、市民福祉の充実を図ることにしています。今年度の主な新規事業を紹介します。

保健センターの建設

市民の健康増進と体力の向上を図り、合わせて健康教育、健康相談の場所として建設するもので約六百五十平方メートル。センター内には保育指導室、相談室など備え事業費約一億二千万円。

働く婦人の家建設

働く婦人が余暇を利用して趣味や娯楽を楽しんだり、またスポーツ活動を行ない健康で生活できるように保健センターの二階三階に併設され建設するもので、千二百平方メートル、経事業費約二億五千万円。

「国際障害者年」記念事業

今年の記念にちなみ身体障害者の方々の福祉の向上を図るために市民会館、市民体育館、総合グラウンドに身障者用便所を建設。スポーツ大会、福祉大会も計画しています。

農村総合整備モデル事業

住みよい豊かな村づくりを目指すために本年度から七カ年計画で農道の整備、農業用水路や排水路の建設。また、農村センター、農村公園などを年次的に建設します。

農林業の振興事業

林業構造改善事業

本年度から四カ年計画で、林道の建設や、山間地帯の基盤整備、生活環境を良くするため集会場、作業道の建設をすすめていきます。

高齢者等肉用牛飼育事業

畜産振興と老年者の生きがいづくりを図るため事業を実施するもの。子牛を五カ年間貸付けて肉用牛の生産をはかる制度で八百万円の基金で運用する。

水産業の振興

脇本漁港に物揚場

物揚場がない脇本港に本年度から長さ五十メートルの物揚場を建設します。

外海域放流パイロット事業

取る漁業から育てる漁業も大切なことです。本年度からこの事業を導入。約二百二十万円の予算で西目海岸に稚ウニ二十万個を放流します。さらに年次的にこの計画をすすめていきます。

大型人工礁の投入

沿岸漁業の振興を図るため、国が本年度から四カ年に約六億円の事業費で、阿久根沖九キロ平方メートルに約一千個の大型人工礁を設置します。

教育関係

山下小学校にプールを建設。西目小、田代小、大川中、鶴川内中学校の危険校舎を改築します。脇本地区の社会教育振興に約一億七千万円で地区公民館を建設。

旧市役所跡地を公売



市では、大丸町の旧市役所跡地を近日中に公売します。

購入希望の方は、市役所企画課に説明書図面が準備してありますので申し込んでください。

なお入札の期日、場所などについては後日お知らせします。

詳しくは企画課へおたずねください。

一般会計70億9,492万円を可決

56年度予算

前年当初に比べ19.2%の増

第一回定例市議会

市民の福祉施策に最重点

第一回定例市議会は、三月十日から二十八日まで十九日間の会期で開かれ、川畑市長の施政方針と昭和五十六年度予算を中心に審議が行なわれ、議案二十九件、認定二件が原案どおり可決されました。

昭和五十六年度の一一般会計予算は内外の厳しい状況のなかで産業の振興、福祉の向上、教育施設の充実を図るほか、住民の健康増進を図るなどきめ細かに予算化され、一般会計で前年比十九・二%増の七十億九千四百九十二万円を計上し、市民の生活安定に努めることとしています。ここに予算の主なものをあげてみます。

健康と生活の確保

心身障害者福祉では、今年度の「国際障害者年」にちなみ市民会館など三カ所に心身障害者用の便所を建設するほか、記念事業費六十万円も予算化され、スポーツ大会などが計画されています。

身体障害者の扶助費等については、従来より一層充実することとし、また短期貸付金にも予算を増額して、身障者の方々が安心して社会に適應できるように努めます。

老人福祉関係では、老人家庭奉仕員を一人増員し在宅福祉の充実を図るほか、老人健康審査委託料

老人医療費、扶助費も増額され、これまで一回三百円のはり、きゆう施療料助成金を四百円に引き上げるほか、老人クラブ、各種老人スポーツ大会補助金も従来どおり予算計上しました。

児童福祉費では、児童手当、児童措置費など三億三千七百八十二万円となっています。

保健衛生費では、サンライフ栄養教室や各種の検診、相談を引き続き推進していきます。そのため乳幼児からお年寄りにいたる市民の健康増進と生活向上を図るため約一億三千二百四十四円で保健センターが建設され、これと合わせて、婦人の研修や体力づくり、余暇利用の場として働く婦人の家の建設費として二億五百八十八万三千円を

産業の振興

計上しております。

農業振興費では、えんどう連作障害対策に続いて新たにそらまめ連作障害対策事業にも補助をすることとし、温州みかん園転換事業、猪被害防止対策事業などに引き続き補助し、農業振興に努めます。新規事業として、高齢者の方に肉用牛を飼育してもらうための導入基金八百万円を予算化。

農道整備では、後半田線ほか三線の改良舗装や主要農道に対する散布用砂利代三百万円とグレーダ一借上料補助として百万円を計上し、農産物の基盤整備費なども計上いたしました。

国土調査費では、今年度は鶴川内地区を行なうこととし、五・八平方キロの調査費四千五百三十二万九千円を予算化。

農業構造改善事業費では、三五町農協が建設する肥育豚センターに五千万円を補助します。今年から農村総合整備モデル事業を導入、昭和六十二年までに十

五億二千万円をかけて道路や排水路を整備することになりますが、本年度は事業費三千四十九万円を計上しております。

林業費では、除間伐推進事業や有害鳥獣駆除などの事業を推進するほか、今年から新たに林業構造改善事業を実施して田代、古里地区に集会所を設置するほか、林地の基盤整備や東米次線ほか三線二千五百五十坪の作業道を開設することにしています。

また、林道砂利散布、グレーダ一借上げ料補助金、たけのこ竹林改良にも補助金を計上しました。水産関係では、県下ではじめて稚ウニを放流する予算として二百二十万円を予算措置。

臨本漁港の物揚場を建設し漁港の整備をすすめるほか、黒之浜漁村センター工事、並型魚礁、タートルボックス設置などにも補助金を計上し、漁業振興を図ります。商工費では、商工会議所などと連携をはかり、経営、融資など指導業務などに補助金を予算化。夏まつり、合同物産展など観光発展のための予算も計上しました。

公共土木事業

市民の生活道路として市道の維持補修を積極的にすすめるほか、新設改良として過疎対策事業では瀬之浦小渡線ほか三路線二千二百

五十員。臨時地方道整備事業では中央線ほか四路線三千二百員、一般車道で一路線二百員、電源立地促進対策事業で山下弓木野線ほか二路線七千六百五十六員など計画。

橋りょうでは屋原第四橋を建設することにしてあります。その他里道等の整備事業補助金も計上しました。

また、市道の草払い、側溝清掃奉仕を実施した部落への謝金等も



予算計上。

ガイドレール百五十五員、ロードミラー二十五カ所を設置し、交通安全対策を推進します。

都市計画事業費では、さらに鶴見地区の大丸遠見ケ岡線ほか八百七十員の街路工事をすすめること

特別会計

国民健康保険 国民健康保険のための事業

定の予算総額は、十七億六千七百三十一万八千円で保険税収入は約五億七千二百七十万円、国庫支出金が約十一億八千八百十四万円。歳出の九六が保険給付の費用。大川診療所を運営する直営診療施設定の予算総額は三千二百一



にしているほか、湖地区の一部区画調査も始まる予定になってい

ます。五十五年度から五カ年計画で工事が始まった上野都市下水路事業も一億八百二十一万円で引き続き

万七千円を繰入れ。予算総額は、

食肉センター 一億一千百九十五万八千円。歳入の九六が食肉

交通災害共済 予算総額は六百六十六万七千円。歳入の九六が共済会費。歳出は見舞金など。五十五年度は死亡三人、負傷者七十七人に対し

事業がすすめられます。住宅対策としては、本年も十四戸の市営住宅を建設し市民の住宅要望に応えるほか、がけ地近接危険住宅の移転事業も実施されます。

教育の振興

教育関係費では、市内小学校、中学校の施設の補修を行ない環境をよくするほか教育機器を購入、充実を図ります。

西目小学校、田代小学校、大川中学校の危険校舎を改築、鶴川内中学校、三笠中学校の運動場を整備し、山下小学校にはプールを建設します。

六百五十六万円の見舞金を支給してあります。

冷蔵庫 予算総額は二千二百三十二万

国民宿舎 予算総額は二億六千七百五十万円で歳入の全額が事業収入。歳出は人件費、材料費、光熱水費などの事業費、その他が公債費。

社会教育関係では、各種民主体への補助金を予算化。臨本地区の社会教育並びにコミュニティの場として臨本地区公民館を約一億七千四百万円で作成します。

水道事業会計

収益的収支の支出総額は一億九千九百四万五千円で、水源地の電気料や減価償却費などの管理経費が主なもので、歳入は水道料金でまかなわれます。

資本的収支の支出総額は、一億八千九百六十九万九千円で第四次拡張事業の二年目として新たに配水池の建設や配水管布設工事などに一億三千九百六十一万四千円、その他企業債償還金など。収入は企業債、一般会計出資金など。

4 H クラブが三十周年 土を愛し農業に生きる



記念式典と市役所前通りに植樹

農業後継者で結成している阿久根市4Hクラブ(京田正人会長、会員十九人)が結成三十周年を迎え三月二十四日市民会館に関係者多数が出席して記念式典が行なわれました。

健康(ヘルス)、この4つの頭文字を取った4Hクラブは、昭和二十五年戦後の荒廃した農村に農業の息吹を取りもどそうと、農業を志す若者たちで結成されたもので、上桑原城・永田下・瀬之浦下の三地区につくられ農業振興のため活躍してきました。



業の中堅としてがんばっています。式典には、会員とOB、関係者多数が出席。原田改良普及所長らが「農村や農業を取りまく情勢はきびしいものがありますが若い力をそそぎ、温もりを満ちたふるさとつくりががんばってください」と

と祝福。このあと祝賀会に移り三十周年を祝いました。4Hクラブでは三十周年を記念して、市役所前通り五十坪にイヌマキ六本、ツツジ四百七十本を記念植樹して緑のまちづくりに協力しました。

しめやかに灰供養

市営火葬場で

昨年の四月から今年の三月までに亡くなられた方の灰を供養する灰供養が三月二十四日、関係者が出席して市営火葬場できれやかに行なわれました。

この一年間に約三百人が亡くなり火葬にしているもので、昨年十月新しく建てられた灰塚の前に、市と葬儀社などの職員が出席。光明寺の斎藤暁生先生のお経の流れるなか一人ひとり焼香して死者をとむらいました。

市職員移動

市政の円滑な運営を図るため、また、市民のサービス向上をめざすため四月一日付で市職員の異動を行ないました。(一)は旧任

▽消防組合消防長(総務課長) 猿楽茂▽総務課長(企画課長) 川畑文平▽企画課長(図書館長) 浜之上訓衛▽福祉事務所長(農政課長) 畠中保▽農政課長(建設課長) 花木実義▽建設課長(福祉事務所長) 高永秋義▽市民課長(保険衛生課長補佐) 小原庄吉▽選挙管理委員会事務局長(企画課長補佐) 磯畑節雄▽大川出張所長(市民課長補佐) 寺地世界▽教育委員会社会体育課長(総務課長補佐) 有田健三▽図書課長(財政課長補佐) 浜田健二▽総務課長補佐兼職員係長(水道課長補佐) 末吉昇▽水道課長補佐兼管理係長(財政課管財係長) 大毛健一郎▽財政課長補佐兼財政係長・管財係長(税務課課税係長) 上村光基▽企画課長補佐兼

企画係長(建設課長補佐) 馬見新純▽建設課長補佐兼庶務係長(商工観光課長補佐) 村山好弘▽市民課長補佐兼住民係長・市民相談係長(都市計画課長補佐) 池原忠志▽税務課長補佐兼課税係長・収納係長(税務課長補佐) 桑原祐示▽保険衛生課長補佐兼保険係長(水道課長補佐) 浜田徹▽都市計画課長補佐兼庶務係長(福祉事務所老人障害係長) 鶴田良平▽消防組合参事(消防長) 池田豊▽総務課参事・社会体育課併任(選挙管理委員会事務局長) 大尾速▽市民課参事(市民課長) 寺下保司▽税務課参事(大川出張所長) 花田利光▽福祉事務所老人障害係長(保険衛生課予防係長) 黒神公生▽保険衛生課予防係長(同環境保全係長) 花田達朗▽保険衛生課環境保全係長(税務課収納係長) 橋元朝則▽税務課庶務係長(保険衛生課) 坂元義治▽水道課経理係長(教育委員会庶務係長) 筒義雄▽教育委員会庶務係長(市民課戸籍係長) 関公寛▽市民課戸籍係長(市民課) 寺地幸二▽教育委員会社会教育課社会教育係長(同保健体育課) 富吉昭一▽商工観光課商工係長兼観光係長(市民課相談係長) 山口一人▽商工観光課参事補(市民会館) 栗林重吉▽農政課参事補(農政課主査) 川上隆雄▽農政課技術吏員(同事務史

大川バイパス完成

海岸ぞいに延長八百メートルの新道

市内大川バイパス工事がこのほど完成、三月二十日現地で国・県市それに地元民多数が出席して開通式が行なわれました。

この大川井手下一帯はS字型で勾配もあり、これまでも民家に車が飛びこむなど交通事故も発生しておりバイパス建設の要望が出ていたものです。



ネットワークも解消され

通行もスムーズに

完成したバイパスは、延長八百メートル、カーブには二百七メートルの大川大橋も建設して直線にし、両端も海岸を埋め立て新しい道路を建設したもので市員十二・五、二車線、国が五十三年度から工事費十五億円を建設していたものです。

開通式は、神事のあと関係者代表のテープカット、クス玉刺りのあと大川川畑下部落の神之田節さん(81)ケサノさん(80)の親子三代を先頭に大川小鼓笛隊、地元民らが渡り初めを行ない開通を祝いました。

隼人小学校に屋内体育館

もう雨天も大丈夫



完成した隼人小学校体育館

隼人小学校(荒田耕校長 児童数二十七人)に待望の屋内体育館が完成しました。

完成した体育館は、山下小学校尾崎小学校と同じ規模で、五百三十二平方メートル、ステイジ付きの体育

館は、バレーボールが一面できるほか、バトミントン・バスケットボールの体育器具も取り付けてあり総工費四千九百五十万円。

同校は、市街地から十九キロ離れたミニ二校ですが、勉強や剣道、バレーボールなど盛んな学校で、これまで体育館がなく、雨天には狭い教室で体育を行なうなど支障をきたしていました。この体育館の完成に児童らは大喜び、また小津、八郷の地区民も「社会体育にも役立つ」とこの体育館の完成を喜んでいます。

この隼人小学校の体育館完成によって市内すべての小学校に屋内運動場が完成。教育の充実がますます図られることとなります。

学校生活が楽しいものに



隼人小 外戸口勝利

待ちに待った屋内運動場が、ほかの学校の学校にもできました。もう、これで安心です。今までは、雨が降ると体育の授業も、また、いろいろな発表会や式なども、せまい教室でしていました。

これからは、雨の日も思いきって運動ができます。ステイジを使って楽しい発表会もできます。これからの学校生活がうんと楽しいものになりそうです。

鹿兒島県が

調理師試験を実施

試験は7月15日午前10時午後3時、鹿兒島市下伊敷町の県立短大で。科目は衛生法規、栄養学など六科目。受験料千六百円。願書受け付けは5月6日、6月5日。受験資格、受験手続きなどの詳細は、出水保健所または県予防課まで。

- 尾崎信行▽市民課(総務課)
- 池田真一▽総務課(建設課)鳥飼
- 公貴▽保険衛生課(税務課)山下
- 道郎▽農政課(土地改良課)馬見
- 塚徹▽建設課(農政課)猿峯
- 次▽教育委員会社会教育課(企画課)
- 尾塚松行▽企画課(税務課)
- 江部正二▽市民会館(教育委員会)
- 社会教育課(松永庄司▽西目保育所(福本保育所)松園ナミエ)
- 新しく十四人が市職員として採用されました。今後とも市民の奉仕者としてがんばります。よろしくご指導、ご協力ください。
- 企画課 上松直幸 ○税務課 川畑宏之 ○市民課 花木雅昭
- 水産課 小田原真 ○農政課 早瀬則浩 ○建設課 山平俊治
- 都市計画課 大野正一 ○土地改良課 下路可修 ○総務課 松元浩子 ○消防署 浜崎敏光 宮原真佐樹 久留主誠 ○保険衛生課 花田秋雄 福浦正信

田代小学校児童数12人に 12年ぶり8人が入学



校区民の期待を担う
たのもしい8人の一年生

に学校は活気にあふれていました。同校は市街地から十一キロ離れた山間いにある静かな学校で、ミ二校ながら先生児童たちが楽しく学校生活をおくっています。悩みは児童数が少ないこと、しかし最近地区に都会からUターンして家業を継いだり、市内の工場で働く若者が少しづつ増加、おかげで子供たちも多くなり、毎年一人か二人だった入学式も今年は男五人女三人の子供たちが入学したものです。

四月六日市内の小中学校では一斉に入学式が行なわれ、期待と不安を胸に新一年生が学校の門をくぐっていました。

このなかで、全校児童十二人の田代小学校(向井勇校長)でも入学式が行なわれ十二年ぶり八人の新しい一年生が入学し、久しぶり

高齢者などの方に肉用牛の

貸付け制度スタート

四月三十日まで受付中

畜産振興と高齢者等の福祉向上のため、子牛の生産を目的とした肉用牛を五年間無利子で貸付ける高齢者等肉用牛導入基金がスタートしました。

貸付ける牛は、おおむね生後六

カ月以上十五カ月未満のめす牛で貸付けを受けられる方は次に該当し、市長が適当と認める人で貸付ける頭数は一人二頭以内です。
○ 農業に従事している満六十歳以上の人

入学式は体育館に父母ら多数が出席して行なわれ向井校長の祝いの言葉のあと一人ひとり紹介されると元気よく「はいっ」と答えたのもしいところを見せ、児童代表の小園京子さんが「一度に八人の仲間がふえてうれいす。おにいさんおねえさんと楽しく勉強しましょうね」と祝い、会場は喜びいっぱいにつつまれていました。

年間六カ月以上世帯主が出稼ぎする農家の家族であつて成年に達している人

貸付けを受けた人は、五年間飼育していただき、五年間の飼育期間満了の五年後に貸付けたときの牛の購入金額を納入するか、あるいはその間に、めすの子牛二頭を返納すれば、牛は対象者に譲渡されます。

春をつげる

ワカメのカーテン

春をつげる阿久根のワカメ取りが始まり、海岸にはきれいなワカメがつるされたワカメが春の日差しを受け、潮の香りをただよわせユラユラりと風にゆれている。

このワカメ取りが終るころ阿久根には初夏がおとずれる。

悩みは

「じじいの電話」へ

ら、だれにも相談できないで、重く暗い気持ちで生活している人がたくさんいます。

現代の疎外された社会の中ではさまざま不安や悩みをもちながら、また、家畜共済に加入しなればならない事項など定められています。

貸付けを希望される方は、部落の小组長さん宅に申請書がありますので必要事項を記入のうえ、小组長さんを通して四月二十日(木)まで申し込みください。詳しくは、市農政課までおたずねください。

電話相談日時及び電話番号は次のとおりです。
平日 九時～十六時三十分
土曜日 九時～十一時三十分
☎〇九九-〇五〇-七九七

みんなが楽しく参加できる

スポーツ大会に

各行事について活発な意見

体育指導委員会



スポーツシーズンを迎え市民みんなが楽しく参加して、健康増進と体力づくりをすすめるにはどのようなにしたらよいかなど、スポーツ全般にわたり指導、助言を行なう体育指導委員会が三月二十六日市役所で行なわれ、五十五年度の大会について反省など中心に活発な話し合いが行なわれました。

体育指導委員は、国の振興法に基づいて市でも、市民の心身の健康がいきがいつくりにお年寄りのゲートボールも盛ん

全な発展を図るため設置されておられ実技の指導、スポーツ行事への協力など社会体育を推進するもので委員は十二人。

会議では、各地区でこの一年間に実施された大会について意見が出され、まず駅伝大会については「各地区で行なわれ小学生から大人まで参加できる競技として盛りあがっている、ただ道路使用に悩んでいる」など意見が出されました。また、「大人のスポーツは多くなつたが高校生の参加する大会が少くない。青少年育成の立場からも企画したらどうか。」

「市民体育大会については、市民の最も大きな大会であるので市役所競技団体が一体となって取り組むべきだ。選手集めに苦労がある」「オリエンテERINGは学校行

運動などで過度に体を疲れさせる」と体が休養を要求するようになり

入浴・夜食・寝酒も効果があります。入浴は心身の緊張をときほぐし、うとんなどの軽い夜食をとると脳にたまった血液が胃に集まり、脳が休まります。

お酒は、飲み過ぎはもちろんだ逆効果ですが、少量なら脳の緊張が解きほぐれ、ぐっすり眠れます。

マ不眠が長期続いたら△
神経症や、高血圧症などの血管

事を取り入れて行なえば競技人口も増加すると思う。」など活発な意見が出され、「婦人、お年寄りのスポーツも盛んになり生きがいづくりのためにも喜ばしい」などの意見もでて今後のスポーツ運営に役立てることにしました。

本市の社会体育も年々盛んになり、スポーツ人口も増加し、昨年の四月から今年の三月まで総合グラウンドなど市のスポーツ施設を利用した人は八万六千人で市民一人が約三回利用したことを示し、スポーツが生活の一部として行なわれていることを示しています。

体育施設も充実されており、今後も体育指導委員をどうしご利用いただきたいと思ひます。

◎スポーツ安全傷害保険に加入しましょう。

の病気があるとき、あるいは糖尿などの場合は、夜、排尿のために目が覚めて眠れなくなることもあります。

不眠が長く続くようなときは医師の診断を受けることが大切ですが、もし睡眠薬をもらったら、必ず医師の指示通りに飲むこと。眠れないからといって、勝手に量を増やしたりすることのないよう気をつけましょう。

◎さか立ち一分間で健康づくりを!!

ご冥福をお祈りします

宮原 正彦	85	(大谷)	トモ
八郷 ヒデア	81	(古里)	繁
浦崎 鉄實	59	(藤本浜)	ハルギク
吉岡トミ子	58	(大谷)	達雄
松本 新助	77	(大谷)	勝義
中村 資教	79	(深田)	ハルノ
迫口タケマツ	80	(桐野下)	宗太郎
桐野 モト	84	(濁)	定雄
岸 カツ	98	(上野)	光憲
尾上スナツ	74	(永田下)	クメ
松永トヨミ	71	(牛之浜)	齊三
下藤ナカノ	85	(尻無上)	重志
奥平 純義	80	(川畑中)	盛文
山下 弥熊	71	(上野)	みどり
河南 コマ	87	(本町)	菱田ムツ子
黒藏 イチ	90	(内田)	北平園安
砂畑 治三	86	(新町)	治男
山下 セイ	74	(長野)	助太郎
若松 達朗	0	(尾崎)	義三
中原サカエ	55	(富原)	矢市
上田 フミ	89	(新町)	内山陽子
陳尾 フチ	89	(内田)	悟
弓木野 清	81	(弓木野)	乙次郎
松元 義広	85	(高松)	義明
鳥飼 タミ	67	(永田下)	重雄
日富瀬源七	79	(田代中)	シズノ
児玉 武雄	65	(上桑原)	久夫
速矢スカノ	72	(山馬場)	益士
池上 富子	70	(高松)	悟
山崎イセノ	77	(横手)	友義
高原 ツキ	80	(富原)	涉

運動などで気分転換を

不眠

なかなか寝つかれない、寝ついてもすぐ目が覚めてしまう、眠りが浅く熟睡できない、眠れない状態が何日も続くと顔にも疲れが出てきます。

不眠には、気疲れから眠れない場合と、病気があるために眠れない場合とがあります。

「眠れない」という訴えはさまざまで、布とんを目に干したら熟

睡できた、という例もあります。不眠ノイローゼや不眠神経症で眠れない場合は、本人が眠れないと感じているだけで、必要な睡眠をとっているケースが多いようです。

「眠れない」ことでよくよまないこと。難しいことですが、不眠にこだわらないで、むしろ気分転換に神経を使ってみましょう。

運動などで過度に体を疲れさせる」と体が休養を要求するようになり

自分の目標に向かって がんばります

実社会に25人が巣立つ



市民のひろば
ひろば

③1211 内214へ

ニュース・話題などお知らせください



一人ひとりに記念品を贈り前途を祝福

社会に巣立つ中学生をほげます
会が三月十二日、市民会館で行な
われました。

今年市内六つの中学校で五百
四十六人が卒業しますが、このう
ち社会に出て就職したり家事手伝
いをする人は二十五人。

会では、川畑市長らが「実社会
は厳しいと思いますが、体力と根
性で荒海をのりこえ、りっぱな社
会人となるようがんばってください
い」とほげましの言葉を送りまし
た。

一人ひとり自己紹介のあと鹿見
島市に就職する坂元幸四郎君ら各

中学校の代表者が「不安と期待が
ありますが、自分の目標に向かっ

博多まつりで踊りを披露



浜婦人会

市内浜部落婦人会（浜崎タエ会
長）の一行十四人が三月七日、博
多駅まつりが行なわれている博多
駅広場で、博多市民に阿久根の郷
土芸能「相撲甚句」、「阿久根ハ
ンヤ節」、「港音頭」を披露。

このあと、特産品のポンタン、
がらんつ、観光パンフレットなど
道行く人にプレゼント阿久根の宣
伝を行ないました。

漁業めざす二十七人に修了証



水産教室終了

五十五年度市の水産教室の閉講
式が、三月四日市漁協で行なわれ
倉津幸平君ら二十七人に修了証が
渡されました。

中学生に漁業知識を少しでも知
ってもらおうと昨年の七月開講。
阿久根大島で合宿して漁具の作り
方・航海術・手旗信号などこれま
で月一回の勉強と、県水産試験場
垂水の栽培漁業センターの視察と
漁業知識を学んできました。

閉講式では川畑市長が「修了お
めでとう。友だちとの友情を忘れ
ることなく漁業振興のためがんば
ってください」とほげまし、一人
ひとりに修了証と記念のスポーツ
バッグを贈りました。

昭和四十年から開いている水産
教室、今では県下で阿久根市一カ
所だけ、これまで三百一十六人が
卒業し、百人ほどが地元で後継者
として活躍しています。

誕生 おめでとう

出生児	保護者	区名
猿楽 篤史	興路	(佐海)
西田 武道	数市	(高之口)
築地新公代	一廣	(中村)
木下 倫美	之芳	(高松)
下澤 宏美	三喜男	(新町)
新塘 菊美	末弘	(倉津)
小田 陽平	一男	(大尾)
森永 裕也	博美	(上野)
阿久根 寛	修二	(波留)
福元 将人	久	(段)
児玉 由香	春美	(浜)
日笠山万紀子	隆夫	(上野)
南 奈月	英徳	(牛之浜)
稲富 巧	敏博	(新町)
佐々木真奈	勝喜	(大丸)
松本 剛宏	朝昭	(臨本浜)
田上 賢知	文雄	(榎の東)
高浜 真一	正和	(黒之浜)
松本 豊	長利	(黒之上)
野田明日香	実雄	(黒之浜)
迫口 美香	絆藏	(桐野下)
濱崎 直美	博	(臨本浜)

社協だより

次のかたがたから、市社会福祉
協議会に寄付がありました。
ありがとうございます。

松下フク（表川内） 浜崎正治（新

牛飼が一番楽しか！

八十四歳今でも現役

中村

築地新集助さん

「牛の世話が一番楽しか」と今年八十四歳になるお年寄り、牛の飼育に精を出し、体も丈夫で元気に暮らしています。

このお年寄り、市内中村部落の築地新集助さん。集助さんは根っからの牛好きで、二十五歳から牛を飼い始め多い時は六頭から八頭の牛を育ててきました。また、十人の子供にも恵まれ全員健在。今、奥さんと二人で仲良く暮らしています。

牛を育ててしまうと、八十二歳になったとき、近くに住む娘さんや、奥さんから「年じやっで、牛

飼いはやめやんせ」と言われ、仕方なくやめる。しかし、牛好きの集助さんは、やめてからも未練が残り野田の市場や近くで子牛が生まれたと聞いては出かけ、じっと隠居暮らしの様子もなく、とうとう昨年十一月赤牛一頭購入し再び牛育てが始まった。それ以来、奥さんはゲートボールに、集助さんは牛育てにと精を出す。朝早くから青物を煮こみエサづくり、これが終ると近くの道端の青草刈り、昼からはカヤ切りにと息づくひももないほどの忙しさ、おかげで体も元気で健康そのもの「ゲートボ

ールも良かどん……牛飼もよか」と、来年は子牛が生れるのを楽しみに待っています。

鶴蘭さん優勝

県選抜剣道大会で

第十二回鹿兒島県選抜剣道大会は、三月一日鹿兒島市で行なわれ

本市出身の鶴蘭福夫さん（県警機動隊、大川中学校出身）がみごと優勝しました。

鶴蘭さんは、尻無下部落の出身で、この日も強ごうを相手に順調に勝ちすすみ優勝したもので、あらためて本市剣道のレベルの高さが示されたものと言えます。

われら年寄り舞踊団

老人ホームなど慰問

喜楽会



「毎日働くばかりでは楽しめない、たまにはさうらくに踊りでも踊ろうと瀬の浦下部落の踊り好きが集まり結成したもので現在会員は四十歳代から六十歳代まで九人。練習は農作業の合間に行ない、一通り踊れるまでに腕が上達、これまでも地区の夏祭りや老人ホームなど出かけ奉仕を続けているものです。

平均年齢六十歳のお年寄りの踊りグループ「喜楽会」が、このほど市内の福祉施設「桜ヶ丘荘」と「愛和園」を訪ね踊りを披露する人圍者から喜ばれました。

この日も、四人がそろいの着物姿で登場、六十八歳の辻澄夫さんの「大利根月夜」や「黒田節」、九州男児」など得意の歌謡物を中心に一時間たっぷり踊り、盛んな拍手を受けていました。

児童福祉週間

五月五日の「子どもの日」から十一日までの一週間は児童福

祉週間

子どもの人格を尊重し、健康で明るい家庭づくりをすすめます。

阿久根測候所の夜間閉鎖についてご理解とご協力を

阿久根測候所

阿久根測候所は四月一日から、これまでの宿直制をやめて、午後七時から翌朝午前八時までの夜間は、鹿兒島地方気象台がかわって気象情報提供の業務を行なっています。夜間閉鎖しましたが、台風や大雨による被害が予想されるときなどは、夜間でも所員を配置して監視や観測を行なうとともに、台風情報や気象情報など必要な情報は、市または必要な機関にお知らせすることにしています。

市民のみなきまへの気象サービスには今後とも支障のないようにつとめますので、ご理解とご協力をお願いします。

- 町）牛之浜イトノ（牛之浜）松永
- 資三（同）花田マンチヨ（中屋敷）
- 浜崎強志（浜）大洞春男（大丸）
- 中村満代（同）西信夫（同）佐潟
- 利一（佐潟）上松ヨネ（上野）
- 大田重雄（尻無上）下藤重志（同）
- 桐野定雄（濁）中川登（松ヶ根）
- 池上悟（高松）畑添光雄（桐野上）
- 弓木野乙次郎（弓木野）奥平盛文
- （川下）松木勝義（大谷）中村
- 真（深田）菱田ムツ（本町）



「ゲートボールもよかどん……」と飼育に精出す集助さん



お知らせ

乳幼児および父子・母子家庭医療費助成手続は早目に

市福祉事務所では、乳幼児および父子・母子家庭の方へ、医療費の一部を助成しています。助成を受けるには、登録をし、受給者証の交付が必要です。健康保険証、印章を持参のうえ、早目に手続をすませましょう。

助成を受けられる者

◇市内に住んでいる六歳に満たない乳幼児のいる世帯（歯科診療は一歳未満）

◇配偶者のない方で十八歳未満の児童を扶養している世帯。

助成される額

医療機関へ支払った額から二千元を差引いた額を助成します。（ただし、一人分ごと月別に計算）詳しくは市福祉事務所へお問い合わせください。

児童相談室を開設

児童の相談を受けます

児童相談室は、すべての児童が

務所家庭児童相談室、または地区の児童民生委員に申し込んでください。

猟銃等の

いつせい検査

4月1日から30日

心身ともにすこやかに成長し、幸せな生活ができるよう、家庭や学校と連携をとりながら、満十八歳未満の児童の相談に応じ親とともに問題を解決するところです。相談の内容は、児童の養育のこと（病氣、保護者の家出など）、心身の障害、問題行為（家出、ぬすみ、不良交遊など）相談を希望される方は市福祉事

務所へお問い合わせください。

警察では、四月一日から三十日までの一か月間、所持許可を受けているライフル銃、散弾銃、空気銃および産業銃砲のいつせい検査を行なっています。検査の日時など直接通知してありますので、必ず検査を受けるようにしてください。

納め忘れに注意

国民年金の保険料

四月は、昭和五十五年度分の国民年金保険料の最終納期月となっております。

国民年金には、老齢・通算老齢年金のほか、国民年金の加入期間中に、不幸にして障害者になつたり、一家の働き手である御主人を亡くしたりした時も、障害年金、母子・準母子年金、遺児年金、寡婦年金が、短期給付として支払われ生活の支えとなっております。

これらの短期給付は、事故が発生したときに国民年金保険料が滞りなく納められているかどうかで決定されます。未納保険料がないか確かめてください。保険料は、ひと月二、七〇〇円。また、将来より多い年金を希望する人に設けられた付加保険料は、ひと月四〇〇円です。なお、五十六年度分の保険料は、ひと月四、五〇〇円に引き上げられます。付加保険料は従来どおりです。

4月は固定資産税

第一期の納月期

税金は社会共通の経費です。すすんで納税しましょう。

年間の納期日は次のとおりです。

第一期 4月1日から4月30日まで

第二期 7月1日から7月31日まで

第三期 11月1日から11月30日まで

第四期 57年1月1日から1月31日まで

通知しました固定資産税について二期以降の税額を一期の納期内（4月30日まで）に納入されますと奨励金が出ます。

編集後記

四月、新しい年度を迎えましても活気がみなぎっています。

大林・多田地区に待望の給水が始まり、地区民は新しい水の生活に入りジャコをひねる顔にも喜びがあふれています。

水を大切に、有効に使用しましょう。

今月は議会を中心として紙面をつくりました。今後とも広報あぐね"をご愛読くださるようお願いいたします。

在宅医さん

在宅医の診療時間は午前九時から午後五時まで。急患の方以外はご連絡ください。

4月26日

上園医院 ③1055 (本町)

田中医院 ③0553 (大丸)

黒木医院 ⑤0200 (下村)

堀切医院 ②0263 (高松)

北園医院 ②0016 (本町)

平 医院 ⑤2626 (古里)

喜多医院 ②0038 (大丸)

石原医院 ⑤0045 (楊之東)

5月4日

内山病院 ③1551 (高松)

浜之上病院 ⑤2600 (脇馬場)

5月5日

阿久根内科 ②0578 (新町)

林 病院 ③0836 (本町)

黒木医院 ⑤0200 (下村)

5月10日

上園医院 ③1055 (本町)

田中医院 ③0553 (大丸)

平 医院 ⑤2626 (古里)

5月17日

堀切医院 ②0263 (高松)

北園医院 ②0016 (本町)

石原医院 ⑤0045 (楊之東)

健康に気をつけ楽しくくらしましょう